

専門調査会からの報告(概要版)

- 1 . 知的創造サイクル専門調査会からの報告(平成19年 2 月26日)
 - ・ 「知的創造サイクルの推進方策」
- 2 . コンテンツ専門調査会からの報告(平成19年 3 月 8 日)
 - ・ 「世界最先端のコンテンツ大国の実現を目指して」
 - ・ 日本ブランド(食、地域ブランド、ファッション)

1. 知的創造サイクル専門調査会からの報告 (平成19年2月26日)

提言された主な対策

知的財産の創造

- ・ 大学知的財産本部（43大学等）とTLO（48機関）を一本化・連携強化

知的財産の保護

- ・ 2013年審査待ち期間11ヶ月を目指した特許審査の迅速化
- ・ 世界特許の実現に向けた出願様式の統一・審査結果の相互利用の推進
- ・ 模倣品・海賊版対策の強化

知的財産の活用

- ・ 「国際標準総合戦略」に沿った経営者の意識改革、企業の組織体制強化
- ・ 全国2,800箇所の知財駆け込み寺をはじめとする支援機関の充実と連携強化
- ・ 未利用特許の有効活用

人材育成

- ・ 異なる知財人材（弁理士、審査官など）が議論し合う研修の実施など研修機関間の連携強化
- ・ 地域の工作教室、発明教室など課外活動を通じた知財教育

2. コンテンツ専門調査会からの報告(平成19年3月8日)

(1) 「世界最先端のコンテンツ大国の実現を目指して」

提言された主な対策

世界に通用する業界となる

- ・ 海外市場及びデジタル時代を念頭に置いたビジネスモデルの構築とそのための環境整備(ネット検索サービスの問題の解決等)
- ・ テレビ番組等の二次利用促進のための契約ルールづくり

世界で勝負できるジャパンコンテンツを創る

- ・ 「JAPAN国際コンテンツフェスティバル」や「メディア芸術祭」などによる新たな才能の発掘・活躍の場の提供
- ・ 国際的なプロデューサーやエンターテインメント・ロイヤーの育成

グローバルな交流を進める

- ・ アジアをはじめとしたコンテンツに係わる人・モノ・カネの相互交流
- ・ 魅力あるジャパンコンテンツの世界への発信(内外の貢献者の顕彰)

(2) 日本ブランド (食・地域ブランド・ファッション)

提言された主な対策

豊かな食文化の醸成

- ・日本の食材の輸出：2013年に1兆円規模に拡大（2006年実績：約3700億円）
- ・海外の料理人に対する料理技術教育の充実

地域ブランドの確立

- ・地域団体商標制度の活用（2007年3月20日現在の登録査定：177件）

ファッションの振興

- ・「東京発 日本ファッションウィーク」の発信力の強化
- ・海外人材の受入れと育成